

## 世界規模の低栄養診断～GLIM基準～

GLIM(Global Leadership Initiative on Malnutrition)基準は、世界規模の低栄養診断基準として2018年9月に発表されました。体重減少/体力低下(現症)の原因(病因;疾患による炎症の有無)を考慮して診断するのが特徴です。

今回は、症例提示し、GRIM基準での低栄養診断方法をご紹介します。

<仮想症例> 70歳 男性

主訴: 食欲不振、倦怠感

病歴: 以前よりアルコール肝障害を指摘されていたが、禁酒しなかった(飲酒歴45年、日本酒3合/日)。1年前から食欲不振・倦怠感を認め、食事摂取量が6~7割に低下した。体重は5ヶ月で5kg低下した。肝硬変の診断で入院となった。

現症: 身長170cm, 現体重57kg, IBW63.5kg, BMI19.7kg/m<sup>2</sup>, 下腿周囲長25cm(右)

入院時採血データ: アルブミン3.0g/dl, リンパ球数900/μl, 総コレステロール135mg/dl

スクリーニング; 当院ではCONUTスコアを使用。

アルブミン3.0g/dl(2),

リンパ球数900/μl(2),

総コレステロール135mg/dl(2)

計6点、≥5点はat riskとして評価

	正常	軽度	中度	高度
アルブミン値 (g/dl)	≥3.5 (0)	3.00-3.49 (2)	2.50-2.99 (4)	<2.50 (6)
リンパ球数値 (/μl)	≥1600 (0)	1200-1599 (1)	800-1199 (2)	<800 (3)
総コレステロール値 (mg/dl)	≥180 (0)	140-179 (1)	100-139 (2)	<100 (3)
栄養不良レベルスコア	正常 (0-1)	軽度 (2-4)	中度 (5-8)	重度 (>8)

アセスメント

現症

病因

意図しない体重減少	低BMI (kg/m <sup>2</sup> )	筋肉量減少	食事摂取量減少/ 消化吸収能低下	疾患による負荷/ 炎症の関与
<input checked="" type="checkbox"/> >5%; 過去6か月以内 <b>5か月で-5kg 8%減</b> <input type="checkbox"/> >10%; 過去6か月以上	<input type="checkbox"/> <18.5; 70歳未満  <input checked="" type="checkbox"/> <20; 70歳以上 <b>BMI 19.7</b>	下腿周囲長 <input checked="" type="checkbox"/> 男性 ≤30cm <b>25cm (右)</b> <input type="checkbox"/> 女性 ≤29cm	<input type="checkbox"/> 食事摂取量 ≤50% (エネルギー必要量の) ;1週間以上 <input checked="" type="checkbox"/> 食事摂取量の低下 ;2週間以上持続 <b>食事摂取量が6~7割に 低下</b> <input type="checkbox"/> 食物の消化吸収障害 ;慢性的な消化器症状	<input type="checkbox"/> 急性炎症や 外傷による炎症  <input checked="" type="checkbox"/> 慢性疾患による炎症 <b>肝硬変</b>

上記3項目の1つ以上に該当

and

上記2項目の1つ以上に該当

診断

症例の患者さんは  
「中等度の低栄養」と  
なりますね!

低栄養

重症度判定

現症	体重減少	低BMI (kg/m <sup>2</sup> )	筋肉量減少
中等度の低栄養	<input checked="" type="checkbox"/> 5~10%; 過去6か月位以内 <input type="checkbox"/> 10~20%; 過去6か月以上	<input type="checkbox"/> <20; 70歳未満 <input checked="" type="checkbox"/> <22; 70歳以上	<input type="checkbox"/> 軽度~中等度の減少
重度の低栄養	<input type="checkbox"/> >10%; 過去6か月位以内 <input type="checkbox"/> >20%; 過去6か月以上	<input type="checkbox"/> <18.5; 70歳未満 <input type="checkbox"/> <20; 70歳以上	<input type="checkbox"/> 重大な減少

\*引用元; 東口高志 新しい低栄養の診断基準GLIM基準

GLIM基準についてご紹介しました。現在NST介入の患者さんからGLIM基準での栄養診断を行っています。気軽にお声がけください。

NST委員会 池田(2B) 蓮沼(3C) 伊藤(栄養管理室)